

# 潮音寺だより

第 283 号  
平成 19 年 5 月  
電話 052-671-4831  
ファックス 052-671-4856

〈ホームページ〉 <http://www.ne.jp/asahi/choonji/namo/>

〒456-0034 名古屋市熱田区伝馬 1 -10-11



【出典】  
『法華経』葉草喙品

撮影：正道

降る雨は  
同じであつても

受ける  
草木によつて異なる

降り注ぐ  
慈しみの雨は

乾いた  
大地を潤し

青く茂る  
逞しい大樹を

黄色に熟れる  
芳しい果実を

赤く咲く  
可憐な花を

白く瑞々しい  
滋養豊かな野菜を

それぞれに  
それぞれを育む

## タケノコ

先日、今掘ってきたばかりだと  
いうタケノコを、檀家の方が届け  
て下さいました。あいにく糠がな  
かったので、お米で代用し、唐辛子  
を加え、大鍋で茹でて、さつまい  
ろ、刺身、吸い物でいただきました。そ  
のおいしさは、まさに旬の味、この  
時季一番の幸せを海喫させていた  
だきました。

私が、学生の頃二年間、京都府の  
醍醐郡長岡町(現在は長岡京市)とい  
うところに住んでいました。この  
地域は、畑としての竹林がたくさ  
んあるところなんです。そむは景観と  
しても実にすばびびび、そんな山  
道を歩いていきますと、かぐや姫が  
ひょひょびびびびびびびの音はな  
いかわらぬおはなはなはなはな  
と思われたいわねおはなはなはな  
映画のロケにもよく使われている

ようで、私も、時代劇のロケに遭遇  
したことがあります。

こちらの農家の方々は、藁を敷  
き詰めて、ふかふかの土を作り、柔  
らかいタケノコを育てるために、  
それはそれは、手をしっかりかけ  
て竹林を守っておられます。

私は、学校から、そんな竹林の山  
道を歩いて二十分ほどのところの  
お寺に下宿をさせていだいていま  
しました。それで、この時季になりま  
すと、お庫裏さんが、掘りたてのタ  
ケノコを炊いて、よく出してくだ  
さいました。

この地域のタケノコは、とにかく  
ぐでかい、大きいのです。そして、  
柔らかいのです。地元の方から、よ  
く聞かされました。「穂先が好きだ  
な」というのは田舎もんだ。根元  
に近い方がおいしいんだ」と。

ただ、当時、まだ私は若かったの  
で、そんなにおいしいとは思えな  
かったのであります。しかも、この  
地域の方は、一時に採れるタケノ  
コを、保存用に、家庭で瓶詰にさ  
れるのです。それが、食卓に年中出  
てきますので、慣れっこになって  
しまったせいもあると思います。

それが、あれから四十年、この頃  
では、そのタケノコが、妙に懐かし  
く思い出されるのであります。そ  
こへもってこの度、掘りたてタケ  
ノコを頂戴したものですから、格  
別おいしくいただきたといいつわけ  
です。

長岡京市に、キノシママジミジミで  
有名な長岡天満宮があります。ひ  
よひよひひひの花は小びびびのジ  
ジですが、その色が実に鮮やかで、満  
開時はまさに圧巻であります。今

年の場合、四月下旬が見頃のよう



です。

話が逸れてしまいましたが、この長岡天満宮のたもとに、「錦水亭」というタケノコ料理で有名な料亭があります。ランチですと三五〇〇円からありますが、会席料理ですと二二〇〇〇円からになりますので、なかなかのもんです。何度が、タケノコ会席が食べたいと思っ、その近くまで行くには行くのですが、むづかしい、タケノコ「汁」……。」とむづかしいが頭をかすめ、これまで、ついでに入った

ことがないのであります。多分、今年も無理でしょうが、錦水亭のタケノコ料理を食べずに死ぬと悔いが残りそうなので、いつかは行きたいと思っしています。

と云うで、竹の成長はとても早く、タケノコとしておしく食べられる時期は短いため、漢字の「筍」は、十日間を意味する「旬」に由来するものだそうです。また、タケノコは、とても身近で特徴ある野菜ですので、慣用語が結構多くあります。

### 【雨後のタケノコ】

タケノコは雨後にいっせいに生えることから、似たような物事が次々と現われ出る様子。

### 【タケノコ生活】

タケノコの皮を一枚ずつはぐぶよぶよに、身の回りの衣類・家財などを

少しずつ売って食いつないでいく生活。

### 【タケノコ医者】

また、やぶ医者にも至らぬ意から、技術が幼稚で拙劣な医者をあざけっという語。

### 【縁の下のタケノコ】

立身出世のできぬ人のたとえ。

### 【タケノコ剥ぎ】

性風俗店で用いられる用語で、ボッタクリ商法のひとつ。タケノコの皮をはがす行為に由来し、初期料金を安く見せかけ、サービスクレジットに別料金を課し、段階的に金を巻き上げる手口。

……以上、タケノコが聞いたら気を悪くするようなものばかりです。せめて、じっくり手間隙かけて、おしくいただいてあげないといけませんね。

### 日常茶飯事 にちじょうちやはんじ

「日常茶飯事」も見かける平凡な出来事、あるいは「現代の我々はこのことばをそれぞれ日常茶飯事に用いているが、本来はもっと大切に使用していたのだ。」

禅家では、あり合わせのものを「家常」と呼んだ。つまりは、家の中にもあるものの、家の常。当然、誰の目にもありふれた、なんでもないもの、ふいふい習慣にしか映らない。そして「家常茶飯事」といふことばが生まれる。そして、一般的に用いられるようになり、「家常」が「日常」にかわり「日常茶飯」下。

つまりは、人間、毎日の常としてお茶やご飯を食べる。そして、それを何も特別なこととは思わない。同じように、高貴な道理も、平凡な

毎日の暮らしの中で、それこそありふれた行為の「よく実践されてこそ意味がある」というのがこのことばの本来の真意。逆に、真理なんてたかがこんなものにはかすぎないのさ、という皮肉なニュアンスも込められている。「日常茶飯事」も同じ意味。

しかし、お茶を飲んだりご飯を食べる習慣は無意識に身につくが、真理が「よく平凡な日常の中に存在すること」を認識するまでには、とかく時間がかかるもの。非凡さだけを追い求める現代の若者たちには、絶対に理解できないことばの「日常茶飯事」。『仏教の日常』

### 雑記

#### ◆淡墨桜

日本三大桜と呼ばれる桜の名所



のひとつ、根尾の淡墨桜(岐阜県)に行つて来ました。ちなみに、後の二つは、三春の瀧桜(福島県)、山高神代桜(山梨県)とか。

この淡墨桜は、樹齢一五〇〇年を越える古木、その枝ぶりは見事としかいいようがなく、さらに、飛鳥時代以前から咲いているということを考えて、感激も一入であります。少し散りかけのウィークデーに出かけたので、往復五時間ほどで行つて来られました。

#### ▼ネコ

新入りの野良ネコが二匹来るようになりました。この四匹います。お腹の大きながいますので、また増えそうです。

#### ◆春愁の声 はるなごゝろ やかに

堀の猫 沐魚